



TITLE:

II.研究所の概要

AUTHOR(S):

CITATION:

II.研究所の概要. 霊長類研究所年報 2005, 35: 2-16

ISSUE DATE:

2005-08-31

URL:

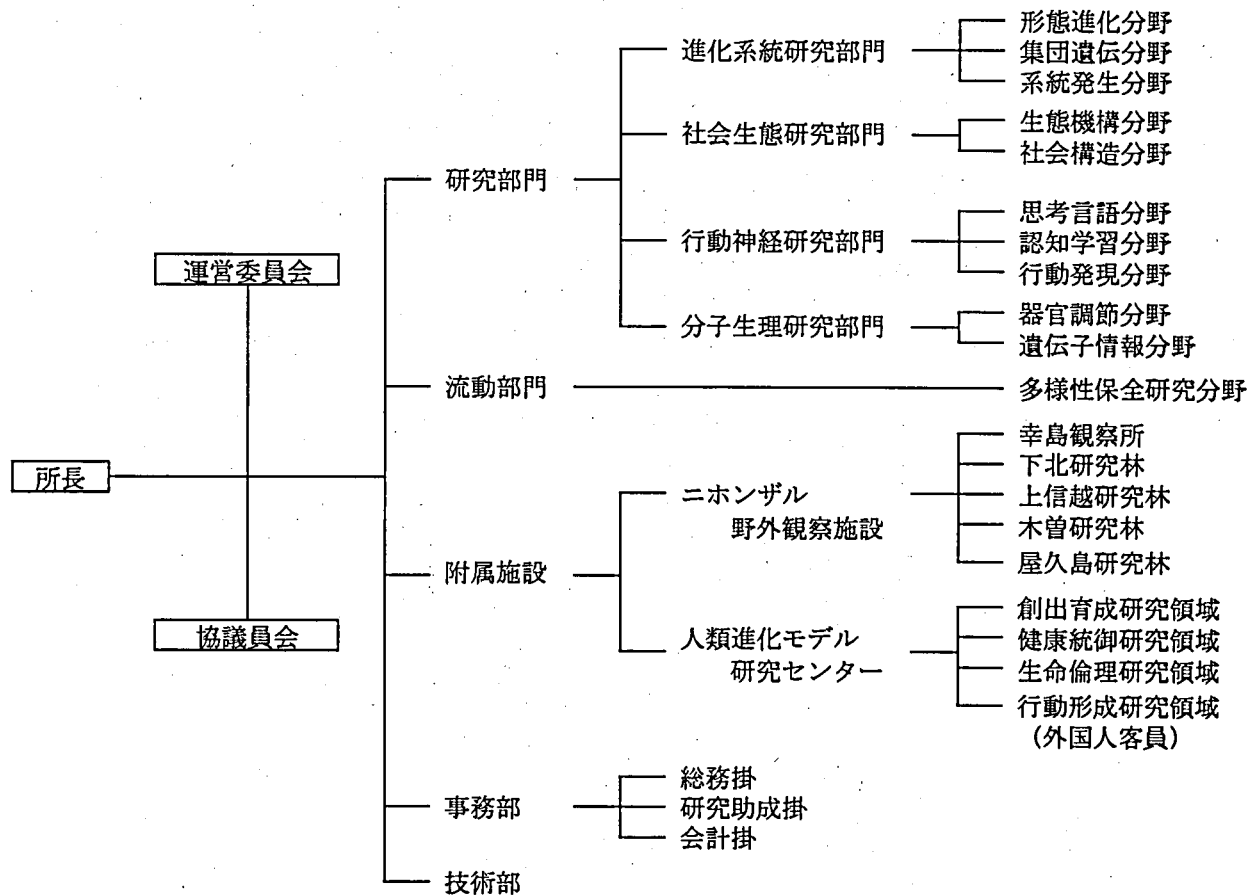
<http://hdl.handle.net/2433/166203>

RIGHT:

II. 研究所の概要

1. 組織

(1) 組織の概要 (2005 年 3 月 30 日現在)



所長	茂原 信生	
運営委員	伊澤 紘生	(宮城教育大学教育学部附属環境教育実践研究センター 教授)
(順不同)	杉山 幸丸	(東海学園大学人文学部 教授)
	諏訪 元	(東京大学総合研究博物館 助教授)
	寺尾 恵治	(国立感染症研究所筑波医学実験用霊長類センター 所長)
	長谷川 壽一	(東京大学大学院総合文化研究科 教授)
	山極 壽一	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	松沢 哲郎	(霊長類研究所 教授)
	松林 清明	(霊長類研究所 教授)
事務長	岸本 佳典	

職員の内訳

教授	助教授	助手	外国人研究員	事務職員	技術職員	小計	非常勤(日々)	非常勤(時間)	合計
10	11	14	1	8	12	56	1	67	124

大学院生、研究者等の内訳

博士課程	修士課程	外国人共同研究者	招聘外国人学者	研修員	特別研究員	受託研究員	研究生	合計
20	10	3	1	2	5	1	4	38

(2) 所内連絡先一覧 (2005 年 7 月 1 日現在)

形態進化分野 Tel/Fax: 0568-61-5775

遠藤 秀紀	endo@pri.kyoto-u.ac.jp
濱田 穰	hamada@pri.kyoto-u.ac.jp
毛利 俊雄	mouri@pri.kyoto-u.ac.jp
國松 豊	kunimats@pri.kyoto-u.ac.jp
早川 清治	hayakawa@pri.kyoto-u.ac.jp
水谷 典子	nmizutan@pri.kyoto-u.ac.jp

集団遺伝分野 Tel/Fax: 0568-62-9554

川本 芳	kawamoto@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 洋之	htanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
澤村 育栄	sawamura@pri.kyoto-u.ac.jp

系統発生分野 Tel/Fax: 0568-63-0536

茂原 信生	shigehar@pri.kyoto-u.ac.jp
相見 満	aimi@pri.kyoto-u.ac.jp
高井 正成	takai@pri.kyoto-u.ac.jp
本郷 一美	hitomi@pri.kyoto-u.ac.jp
佐藤 阿佐子	asako@pri.kyoto-u.ac.jp

生態機構分野 Fax: 0568-63-0565

M. A. Huffman	huffman@pri.kyoto-u.ac.jp
橋本 千絵	hashimot@pri.kyoto-u.ac.jp
広瀬 しのぶ	hirose@pri.kyoto-u.ac.jp

社会構造分野 Fax: 0568-63-0564

森 明雄	mori@pri.kyoto-u.ac.jp
大澤 秀行	ohsawa@pri.kyoto-u.ac.jp
杉浦 秀樹	sugiura@pri.kyoto-u.ac.jp
真方 栄子	makata@pri.kyoto-u.ac.jp

思考言語分野 Fax: 0568-62-2428

松沢 哲郎	matsuzaw@pri.kyoto-u.ac.jp
友永 雅己	tomonaga@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 正之	mtanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

認知学習分野 Fax: 0568-62-9552

正高 信男	masataka@pri.kyoto-u.ac.jp
松井 智子	matsui@pri.kyoto-u.ac.jp
南雲 純治	nagumo@pri.kyoto-u.ac.jp
新谷 さとみ	araya@pri.kyoto-u.ac.jp

行動発現分野 Fax: 0568-63-0563

三上 章允	mikami@pri.kyoto-u.ac.jp
脇田 真清	mwakita@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 隆子	tmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 冬華	ysuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp

器官調節分野 Tel/Fax: 0568-63-0576

林 基治	hayashi@pri.kyoto-u.ac.jp
大石 高生	toishi@pri.kyoto-u.ac.jp
清水 慶子	shimizu@pri.kyoto-u.ac.jp
金武 ひろみ	kanetake@pri.kyoto-u.ac.jp

遺伝子情報分野 Fax: 0568-62-9557

平井 啓久	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 伸	snakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
浅岡 一雄	asaoka@pri.kyoto-u.ac.jp
宮田 正代	miyata@pri.kyoto-u.ac.jp

ニホンザル野外観察施設 Fax: 0568-62-9575

渡邊 邦夫	watanabe@pri.kyoto-u.ac.jp
室山 泰之	muroyama@pri.kyoto-u.ac.jp
阿部 恵	abe@pri.kyoto-u.ac.jp
幸島観察所	Tel: 0987-77-0045/Fax: 0987-77-0251
冠地富士男	kanchi@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴村 崇文	suzumura@pri.kyoto-u.ac.jp
屋久島研究林	Tel/Fax: 09974-5-2074

多様性保全研究分野

香田 啓貴	koda@pri.kyoto-u.ac.jp
-------	------------------------

人類進化モデル研究センター Fax: 0568-62-9559

景山 節	kageyama@pri.kyoto-u.ac.jp
松林 清明	kmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
上野 吉一	okuma@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 樹理	suzuki@pri.kyoto-u.ac.jp
熊崎 清則	kumazaki@pri.kyoto-u.ac.jp
阿部 政光	abem@pri.kyoto-u.ac.jp
釜中 慶朗	kamanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
前田 典彦	maeda@pri.kyoto-u.ac.jp
加藤 朗野	akino@pri.kyoto-u.ac.jp
森本 真弓	marimo@pri.kyoto-u.ac.jp
兼子 明久	akaneko@pri.kyoto-u.ac.jp
小林 陽子	youko@pri.kyoto-u.ac.jp
猪飼 良子	ikai@pri.kyoto-u.ac.jp

事務部 Fax: 0568-63-0085

事務 長	jimuchou@pri.kyoto-u.ac.jp
総務 掛	shomu@pri.kyoto-u.ac.jp
研究助成掛	kyodo@pri.kyoto-u.ac.jp
会計 掛	kaikai@pri.kyoto-u.ac.jp

2. 予算概況

予算概要

(金額の単位はすべて千円)

運営費交付金	人件費	553,034
	物件費	248,008
	物件費（教育研究充実設備費）	226,560
	施設整備費補助金	0
	計	1,027,602
産学連携等研究費	受託研究費（7件）	41,600
	受託事業費（2件）	376
	間接経費	9,320
	全学共通経費	50
	計	51,346
科学研究費補助金（35件）		127,933
21世紀COE補助金（1件）		39,500
厚生労働省科学研究費補助金（1件）		500
日本学術振興会先端研究拠点事業（1件）		18,350
寄附金（5件）		8,007
合計		1,273,238

(1) 2004年度（平成16年度）受託研究費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
受託研究費	中村伸	300	霊長類でのバイオメディカル試験の事業可能性に関する調査
受託研究費	松林清明	34,000	ニホンザルの繁殖と供給に関する調査研究
受託研究費	室山泰之	2,800	野生鳥獣による農林業被害軽減のための農林生態系管理技術の開発（農林業被害地におけるサルの行動管理技術の開発）
受託研究費	川本芳	2,500	野生鳥獣による農林業被害軽減のための農林生態系管理技術の開発（サル地域個体群維持に関わる遺伝的構造と個体群管理のための遺伝的モニタリング法の研究）
受託研究費	正高信男	700	言語習得の身体的基盤の認知神経科学的研究
受託研究費	正高信男	700	学習困難の神経心理学的評定
受託研究費	大石高生	600	脳脊髄損傷からの機能回復における軸索構造の変化
合計	7件	41,600	

※金額は、間接経費を除く

(2) 2004年度（平成16年度）受託事業費 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
受託研究員	中村伸	271	サルモデルでのアレルギー・免疫応答に関する研究
中国政府派遣研究員	竹中修	105	種々の遺伝学的研究方法の修得、中国希少種の保全生態学的研究
合計	2件	376	

(3) 2004 年度 (平成 16 年度) 文部科学省科学研究費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
特定領域(2)	三上章允	3,900	眼球運動発現における F S 細胞の役割の解明
特別推進(2)	松沢哲郎	933	認知と行動の霊長類的基盤
特別推進(2)	松沢哲郎	53,200	思考と学習の霊長類的基盤
基盤研究(A)(1)	濱田稔	5,700	ヒトを含む霊長類におけるロコモーションの発達・加齢
基盤研究(B)(1)	本郷一美	4,600	動物遺存体分析による西アジアの Neolithization (新石器化) 過程の解明: 家畜化の進行と遊牧の発生
基盤研究(B)(2)	正高信男	2,600	ヒトを含む霊長類における音声情報の認知発達: 言語と音楽を用いた比較認知研究
基盤研究(B)(2)	川本芳	5,500	生物多様性への移入種の影響: 和歌山のタイワンザル交雑群に関する総合的研究
基盤研究(B)(2)	景山節	3,600	脊椎動物ペプシノゲンの多様性に関する酵素機能の特異性とゲノム解析
基盤研究(B)(2)	平井啓久	2,400	マンソン住血吸虫における全 BAC クローンの染色体マップの完成
基盤研究(B)(2)	森明雄	3,600	重層社会を作るヒヒ類の社会生態学的, 集団遺伝学的研究
基盤研究(B)(2)	三上章允	4,700	ジャワ島におけるカニクイザル視物質遺伝子の多様性に関する研究
基盤研究(B)(2)	茂原信生	3,100	東南アジア地域における第三紀霊長類の進化学的研究
基盤研究(B)(2)	友永雅己	4,900	動的表現の形成と知識-知覚の相互作用: その比較認知科学的検討
基盤研究(B)(2)	茂原信生	2,400	日本犬の時代的変遷の総括と、日本人の変遷との関係についての研究
基盤研究(B)(2)	濱田稔	4,200	インドシナ半島におけるマカク属の進化: アカゲザルとカニクイザルを主として
基盤研究(B)(2)	高井正成	2,100	アジア地域におけるオナガザル上科の進化に関する古生物学的研究
基盤研究(C)(2)	M.A.Huffman	2,300	霊長目の自己治療行動-食物選択と民族生薬文献の研究と共有データベース作成
基盤研究(C)(2)	國松豊	1,000	化石から見たヒト上科の出アフリカとユーラシアへの拡散
基盤研究(C)(2)	庄武孝義	1,000	DNA 標識を用いたマカクとヒヒの遺伝的特性の再検討
基盤研究(C)(2)	田中洋之	1,000	ゲノムタイピングによる霊長類集団の遺伝的多様性の評価とその応用
基盤研究(C)(2)	高井正成	900	新生代後半のユーラシア大陸における化石霊長類の進化に関する総合的研究
萌芽研究(2)	川本芳	1,200	ニホンザルの東西分化に関する分子考古学的研究
若手(B)(2)	杉浦秀樹	900	群れの空間構造: 個体の行動から群れ全体の構造を探る
若手(B)(2)	田中正之	900	絵の認識と表出に関する比較認知発達の研究
特別研究員奨励費	伊藤 (大塚) 麻里子	1,100	内分泌攪乱物質が雄マカクザルの精子形成に及ぼす影響-ヒト精子形成障害モデルの確立
特別研究員奨励費	座馬耕一郎	1,100	野生チンパンジーにおける利他行動の進化
特別研究員奨励費	鏑本武久	1,100	ポンダウン層の哺乳類化石の記載と東アジアの新生代前半における哺乳類の進化
特別研究員奨励費	早川祥子	1,100	ニホンザルの群れ間遺伝子交流とその進化
特別研究員奨励費	半谷吾郎	1,100	霊長類の社会構造の進化に環境と系統が与える影響
特別研究員奨励費	中山桂	900	フサオマキザルにおける協力行動と他者の役割の理解

特別研究員奨励費	香田啓貴	900	ニホンザルにおける音声応答の成立要因：ヒト音声言語との比較研究
特別研究員奨励費	大橋岳	1,000	野生チンパンジーにおける離合集散性の解明－GPSを用いた複数固体同時追跡の試み－
特別研究員奨励費	林美里	1,000	チンパンジーの対象操作と道具使用における認知発達
特別研究員奨励費	松野響	1,000	チンパンジーにおける視覚的運動情報の処理とその理解：ヒトの視覚認識との比較研究
特別研究員奨励費	正高信男	1,000	ニホンザルとテナガザルの音声コミュニケーションに対する社会的影響について
合計	35 件	127,933	

※金額は、間接経費を除く

(4) 2004 年度（平成 16 年度）21 世紀 COE 研究拠点形成費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
21 世紀 COE 研究拠点形成費	正高信男	39,500	生物多様性研究の統合のための拠点形成
合計	1 件	39,500	

(5) 2004 年度（平成 16 年度）厚生労働省科学研究費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
厚生労働省科学研究費補助金	鈴木樹理	500	霊長類を用いたアルツハイマー病に対する経口治療薬の開発とその臨床応用の試み
合計	1 件	500	

(6) 2004 年度（平成 16 年度）日本学術振興会先端研究拠点事業 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
日本学術振興会先端研究拠点事業	松沢哲郎	18,350	人間の進化の霊長類的起源
合計	1 件	18,350	

(7) 2004 年度（平成 16 年度）寄附金 内訳一覧

補助金等種別	研究代表者	金額	研究課題
(財) 住友財団	清水慶子	657	霊長類学に関する総合的研究
(財) 不二たん白質研究振興財団	中村伸	4,410	ダイズ食品・成分による加齢性機能障害および生活習慣病の予防作用：サルモデルでのゲノム医生物学的研究
東洋鋼鋳（株）技術研究所	浅岡一雄	490	霊長類学に関する総合的研究
(株) 日本臨床医学研究所	中村伸	1,960	サルモデルでのバイオメディカル研究
東洋鋼鋳（株）技術研究所	浅岡一雄	490	霊長類学に関する総合的研究
合計	5 件	8,007	

※寄附金額は、全学共通経費（2%）を控除した金額

3. 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関係論文の別刷は年間 2500 件あまりを受け入れ、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

(1) 蔵書数

2005 年 3 月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下の通りです。

和書：6,934 冊（製本雑誌も含む）

洋書：15,282 冊（製本雑誌も含む）

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）：77,263 点

(2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学 OPAC】で検索できます。

【京都大学 OPAC】にアクセスし、[詳細検索画面] - [所蔵館] の欄に [66 霊長研] と入れると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学附属図書館のホームページをご覧ください。

<http://kensaku.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）は【霊長類学文献索引データベース】で検索できます。

霊長類研究所ホームページの topics【霊長類学文献索引データベース】をご覧ください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/library/books.cgi>

(3) 霊長類研究所図書室利用規程

I. 開室時間と休室

1. 開室時間

平日：9 時から 17 時まで。

2. 休室

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始は休室とする。

その他の臨時休室は、その都度掲示する。

II. 閲覧

1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の所員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員。

3) 1), 2) 以外の、京都大学に所属する者で、所属図書施設の紹介のある者。

4) その他一般利用者。

2. 閲覧

1) 閲覧は所定の場所で行わなければならない。

2) 次の各号に掲げる場合においては閲覧を制限することができる。

(1) 当該資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成 13 年法律第 140 号。以下「情報公開法」という。）第 5 条第 1 号、第 2 号及び第 4 号に掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分。

(2) 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第 5 条第 2 号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間。

(3) 当該資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は当該資料が現に使用されている場合。

III. 貸出及び返却

1. II の 1 の 1) の該当者及び、2) のうち予め利用者カードを提出した者は、下記に従い図書を借用できる。すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。

1) 借用資料の種類と借用方法

a. 単行本

(i) 単行本は 1 か月間借用できる。

(ii) 借用時には、ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本板用紙は代本板の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。

b. 製本雑誌

(i) 製本雑誌は 3 日間借用できる。

(ii) 借用方法は単行本に準じる。

c. 未製本雑誌

(i) 未製本の雑誌は 15 時から翌朝 10 時までの間に限り借用できる。

(ii) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。

d. 別刷

(i) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。

(ii) 利用後は、返却台の箱に返却する。

e.他機関からの借用資料

(i) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。

(ii) 利用後は図書係員に返却する。

2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。

3) 借用中の資料を転貸してはならない。

4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。ただし、他に借用希望者がある時は、他を優先する。

5) 借用後の図書は返却台に返却する。

2. II の 1 の 3) の該当者は、所属の図書施設を通じて借用を依頼することができる。

1) 借用資料は単行本のみで、所属図書施設内での利用に限る。

2) 借用期限は2週間とするが、本研究所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

IV. 総点検及び長期貸出

1.定期的に図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。

2.総点検期間中、図書室を休室とすることがある。

3.図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

V. その他

1.図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については常時図書室に備え付ける。

2.資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。

3.借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。

4.図書室内(書庫を含む)は禁煙とする。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

平成16年4月1日制定

4. サル類飼育頭数・動態

2004 年（平成 16 年）度末飼育頭数

種名	頭数
オオガラゴ	1
コモンマーモセット	26
ワタボウシタマリン	30
ヨザル	16
リスザル	5
フサオマキザル	12
ケナガクモザル	1
ミドリザル	3
ミドリザル×パタスザル	1
ニホンザル	407

種名	頭数
アカゲザル	193
タイワンザル	9
ブタオザル	1
ボンネットザル	9
カニクイザル	47
スラウエシマカク	1
マントヒヒ	7
アジルテナガザル	4
チンパンジー	15
合計	788

2004 年（平成 16 年）度サル類動態表

区分 種名	増加		減少（死亡など）							
	出 産	導 入	実 験 殺	事 故 死	外 傷 死	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	感 染 症	そ の 他 ・ 剖 検 不 能 等	譲 渡
コモンマーモセット	3		2						1	
ワタボウシタマリン	4					1	1		2	
ヨザル	1									
フサオマキザル										7
ニホンザル	27	45	21	2	5	3	2	2	3	18
アカゲザル	34		19	1			2		4	4
タイワンザル			1							
カニクイザル		2								
ボンネットザル			1							
小計	69	47	44	3	5	4	5	2	10	29
合計	116		102							

（数字はすべて頭数）

5. 資料

霊長類研究所が所蔵する資料は、骨格標本、液浸標本、化石模型などからなり、外部の研究者にも基本的にすべて公開されている。標本のほとんどはデータベース化されており、資料委員会の許可にもとづいて利用希望者に提供され、研究遂行上の必要に応じて貸し出しもおこなっている。他機関所蔵の資料との交換も受け入れている。

(1) 霊長類骨格資料(表 1)

現在、資料委員会のデータベースに登録された霊長類骨格標本は表 1 の通りである。その数は 7,000 点を超え、大部分はマカク類を中心とした旧世界ザルの標本である。その他に、新世界ザルの標本も約 1,400 点保有している。類人猿、および原猿類(オウゴン)の標本は、それぞれ数十点ずつである。

(2) 霊長類以外の骨格標本(表 2)

霊長類以外にも、哺乳類を中心に約 1,400 点近い骨格標本を所蔵している。内訳は、タヌキ、キツネ、ツキノワグマ、テン、イタチ、イノシシ、シカ、カモシカなど日本産哺乳類が多い。日本産の野生哺乳類が減っている現在、これらは貴重な資料である。

骨格標本はすべて研究所新棟 4 階と本棟地下の骨格資料室において移動式標本架にならべて保管されている。標本は種ごとに分類され、種内では標本番号にしたがって配列されている。利用希望者は、資料室に設置されたコンピューター上で骨格標本データベースを検索することができる。データベース上で利用できる情報は、標本番号、種番号、属名、種名、登録日、性別、体重、座高、前胴長などである。

(3) 液浸標本

本棟地下の液浸資料室に各種霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本が数百点保管されており、共同利用研究者などを対象に、研究・教育目的で提供されている。これらについてもデータベース化が進められている。

(4) その他

以上の他に、被毛標本数十点が保有されている。

霊長類研究所資料委員会は国内外の多くの研究者がこれらの資料を利用して研究を進めることを希望しており、利用希望者の要請にできるだけ応えたいと考えている。そのため、上記のように研究所所蔵資料のデータベース化など利用環境の整備に努めており、毎年国内外の研究者らによって骨格標本や液浸標本が研究・教育用の資料として活用されている。標本の利用許可については、非破壊的な使用目的の場合は簡便な手続きで済むようにしているが、標本の破壊が必要だったり破損の恐れのある利用の際は資料委員会への十分な事前説明が必要である。

資料委員会は新しい標本の作製、受け入れもおこなっており、毎年標本数は増加している。資料を一層充実させるため、野外調査などの際に、霊長類その他の標本の採集にご協力いただきたい。

備考：資料委員会では、霊長類研究所資料室で登録・保管する他、霊長類標本に関するデータのみの登録も受け付けています。あるいは、標本管理者の移籍・退職などによって管理困難となった標本の取り扱いについても相談を受けます。霊長類研究所資料委員会までご連絡ください（平成 17 年度連絡先：endo@pri.kyoto-u.ac.jp）。

（文責：本郷一美）

2004 年度（平成 16 年度）所蔵骨格資料

表 1 霊長類骨格資料

和名	学名	標本数
ホミノイド	Hominoidea	83
テナガザル属	<i>Hylobates spp.</i>	53
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	24
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	5
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	1
旧世界ザル	Cercopithecoidea	5653
マカク属	<i>Macaca spp.</i>	3964
ラングール属	<i>Presbytis spp.</i>	176
コロブス属	<i>Colobus spp.</i>	362
コバナテングザル属	<i>Simias concolor</i>	132
グエノン属	<i>Cercopithecus spp.</i>	566
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	16
マンガベイ属	<i>Cercocebus spp.</i>	16
ヒヒ属	<i>Papio spp.</i>	403
マンドリル属	<i>Mandrillus spp.</i>	18
新世界ザル	Ceboidea	1423
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	985
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	57
ティティ属	<i>Callicebus spp.</i>	49
ホエザル属	<i>Alouatta spp.</i>	49
クモザル属	<i>Ateles spp.</i>	8
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles spp.</i>	3
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix spp.</i>	16
オマキザル属	<i>Cebus spp.</i>	84
サキ属	<i>Pithecia spp.</i>	13
ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1
ピグミーマーモセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	6
マーモセット属	<i>Callithrix spp.</i>	59
タマリン属	<i>Saguinus spp.</i>	86
ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6
原猿類（含ツパイ）	Prosimii & Tupaia	67
ツパイ属	<i>Tupaia spp.</i>	43
オオツパイ属	<i>Lyonogale spp.</i>	1
キツネザル属	<i>Lemur spp.</i>	6
エリマキキツネザル属	<i>Varecia spp.</i>	2
スローロリス属	<i>Nycticebus spp.</i>	7
ポットー属	<i>Perodicticus spp.</i>	1
ガラゴ属	<i>Galago spp.</i>	6
メガネザル属	<i>Tarsius spp.</i>	1
総計		7226

表 2 その他の骨格資料

和名	学名	標本数
食肉目	Carnivora	912
イヌ科	<i>Canidae</i>	552
ネコ科	<i>Felidae</i>	23
クマ科	<i>Ursidae</i>	132
アライグマ科	<i>Procyonidae</i>	5
イタチ科	<i>Mustelidae</i>	180
ジャコウネコ科	<i>Viverridae</i>	20
奇蹄目	Perissodactyla	8
ウマ科	<i>Equidae</i>	6
バク科	<i>Tapiridae</i>	2
偶蹄目	Artiodactyla	349
ウシ科	<i>Bovidae</i>	50
シカ科	<i>Cervidae</i>	38
イノシシ科	<i>Suidae</i>	257
ベッカリー科	<i>Tayassuidae</i>	3
不明	<i>indet.</i>	1
齧歯目	Rodentia	68
ネズミ科	<i>Muridae</i>	22
リス科	<i>Sciuridae</i>	33
テンジクネズミ科	<i>Caviidae</i>	3
ヌートリア科	<i>Myocastoridae</i>	1
ヤマアラシ科	<i>Hystriidae</i>	1
オマキヤマアラシ科	<i>Erethizontidae</i>	1
カピバラ科	<i>Hydrochoeridae</i>	1
バカ科	<i>Agoutidae</i>	2
不明	<i>indet.</i>	4
ウサギ目	Lagomorpha	10
ウサギ科	<i>Leporidae</i>	9
ナキウサギ科	<i>Ochotonidae</i>	1
食虫目	Insectivora	1
モグラ科	<i>Talpidae</i>	1
有袋目	Marsupialia	6
オポッサム科	<i>Didelphidae</i>	2
ウォンバット科	<i>Vombatidae</i>	1
カンガルー科	<i>Macropodidae</i>	2
クスクス科	<i>Phalangeridae</i>	1
貧歯目	Edentata	2
フタユビナマケモノ科	<i>Megalonychidae</i>	2
長鼻目	Proboscidea	1
クジラ目	Cetacea	9
マイルカ科	<i>Delphinidae</i>	9
鰐脚目	Pinnipedia	16
アシカ科	<i>Otariidae</i>	14
哺乳類・計		1382
爬虫類		4
魚類		1
総計		1387

6. 人事異動

所属	職名	異動		内容	備考
		氏名	年月日		
生態機構	助手	橋本千絵	2004/4/16	採用	センター助手より
※センター	助教授	鈴木樹理	2004/6/1	昇任	
生態機構	教授	上原重男	2004/8/24	逝去	
認知学習	助手	泉明宏	2005/1/1	転出	
形態進化	教授	遠藤秀紀	2005/2/1	転任	国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第六部第三研究室長へ 国立科学博物館より
遺伝子情報	教授	竹中修	2005/3/3	逝去	
集団遺伝	教授	庄武孝義	2005/3/31	定年	

※センター：人類進化モデル研究センター

7. 海外渡航

所属	職名	氏名	種別	期間	目的国	目的
系統発生 認知学習	助手 教授	高井正成 正高信男	出張 研修	2004/4/14～4/19 2004/4/27～5/2	アメリカ合衆国 フランス共和国, イタリア共和国	アメリカ人類学会出席, 発表 第4回ソニーラーニングワークショップ出席・研究打合せ
生態機構 生態機構	助教授 助手	M.A.Huffman 橋本千絵	研修 出張	2004/2/26～5/14 2004/5/2～5/11	アメリカ合衆国 ドイツ連邦共和国, オランダ王国	研究連絡・学位審査会出席 研究連絡・国際会議出席
集団遺伝 野外施設	助手 助教授	田中洋之 渡邊邦夫	出張 研修	2004/5/14～5/25 2004/5/14～6/4	マレーシア インドネシア共和国, タイ王国	熱帯林生物多様性総合調査 スラウェシマカク調査・カニクザル調査
系統発生	助手	本郷一美	出張	2004/5/21～6/22	トルコ共和国, フランス共和国	国際考古動物学会西南アジア分科会・DNA分析分科会出席, 発表・研究連絡
行動発現	教授	三上章允	出張	2004/6/14～6/20	インドネシア共和国	色盲ザルの研究打合せ, 捕獲調査打合せ
認知学習 形態進化	教授 助教授	正高信男 濱田穰	出張 出張	2004/6/22～7/1 2004/7/8～8/8	インドネシア共和国 タイ王国, ラオス, ミャンマー, ベトナム	テナガザルの行動学的研究 マカク類分布調査
行動発現	助手	脇田真清	研修	2004/7/8～7/16	ポルトガル共和国	第4回欧州神経科学学会学会参加・発表
系統発生	助手	高井正成	出張	2004/7/15～7/28	ミャンマー連邦共和国	ミャンマー中央部の洞窟における霊長類化石の発掘調査
社会構造 行動発現	教授 教授	森明雄 三上章允	出張 出張	2004/7/17～8/31 2004/7/24～8/2	サウジアラビア王国 インドネシア共和国, シンガポール国	マントヒヒの生態調査 色盲ザルの捕獲調査及び研究打合せ
センター	助手	後藤俊二	出張	2004/7/24～8/2	インドネシア共和国, シンガポール国	色盲ザルの捕獲調査及び研究打合せ

所属	職名	氏名	種別	期間	目的国	目的
器官調節	助手	清水慶子	出張	2004/8/1～8/7	カナダ	第 37 回 Society for the Study of Reproduction 出席, 研究発表
生態機構	助手	橋本千絵	出張	2004/8/3～11/6	ウガンダ共和国	野生チンパンジーの生態学的調査
系統発生	助手	本郷一美	出張	2004/8/12～9/29	トルコ共和国	牧畜に関する野外調査及び新石器時代遺跡の発掘調査
行動発現	教授	三上章允	出張	2004/8/18～8/29	イタリア共和国	第 20 回国際霊長類学会出席・研究発表, 研究連絡
思考言語	助教授	友永雅己	出張	2004/8/19～8/29	ドイツ連邦共和国, イタリア共和国	マックスプランク進化人類研究所見学・研究打合せ, 講演, 第 20 回国際霊長類学会出席・発表, 研究連絡
遺伝子情報	教授	竹中修	研修	2004/8/19～8/21	大韓民国	韓国国立霊長類研究センター開所式出席
集団遺伝生態機構	助教授 助教授	川本芳 M.A.Huffman	出張 研修	2004/8/21～8/28 2004/8/21～9/11	インドネシア共和国 イタリア共和国	カニクイザルの調査 第 20 回国際霊長類学会出席, 研究連絡・チンパンジーの生態調査
思考言語	教授	松沢哲郎	出張	2004/8/22～9/2	イタリア共和国	第 20 回国際霊長類学会出席・発表, 研究連絡, チンパンジー・フサオマキザルの道具使用に関するワークショップ出席
集団遺伝	助手	田中洋之	出張	2004/8/22～8/30	イタリア共和国	第 20 回国際霊長類学会出席, 研究連絡
系統発生	助手	高井正成	出張	2004/8/22～9/6	イタリア共和国, フランス共和国	博物館所蔵の霊長類化石の観察・計測
器官調節	助手	清水慶子	出張	2004/8/22～9/5	イタリア共和国, ポルトガル共和国	第20回国際霊長類学会, 12th International Congress of Endocrinology 出席・発表
センター	助教授	平井啓久	出張	2004/8/23～9/1	イタリア共和国	第 20 回国際霊長類学会ならびに霊長類細胞遺伝学・比較ゲノム会議に出席・発表
センター	客員教授	S.Srikantha	出張	2004/8/24～8/30	イタリア共和国	第 20 回国際霊長類学会出席・発表
センター	教授	景山節	出張	2004/8/29～9/6	ドイツ連邦共和国, オランダ王国	施設見学及び研究打合せ
センター	助教授	鈴木樹理	出張	2004/8/29～9/6	ドイツ連邦共和国, オランダ王国	施設見学及び研究打合せ
行動発現	教授	三上章允	出張	2004/8/30～9/5	オーストラリア連邦	第 16 回国際眼研究学会出席・発表及び研究連絡
遺伝子情報	助手	浅岡一雄	出張	2004/9/3～9/12	ドイツ連邦共和国	ダイオキシン国際会議出席及び発表

所属	職名	氏名	種別	期間	目的国	目的
社会構造	助教授	大澤秀行	出張	2004/10/1～10/29	タイ王国	東南アジアのマカク類の分布調査及び研究打合せ
生態機構	助教授	M.A.Huffman	出張	2004/10/10～11/1	スリランカ民主社会主義共和国, 中華人民共和国	研究打合せ, 資料収集
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2004/10/15～10/26	インドネシア共和国	スラウェシマカクの継続調査
形態進化	助手	國松豊	出張	2004/10/17～10/22	中華人民共和国	北京原人第一頭蓋骨発見 75周年記念シンポジウム出席・発表
系統発生 集団遺伝	助手 教授	高井正成 庄武孝義	研修 出張	2004/10/18～10/24 2004/10/23～11/9	アメリカ合衆国 サウジアラビア王国	講演及び研究連絡 ヒヒ類の重層社会の進化についての集団遺伝学的研究
野外施設 遺伝子 情報	助教授 助手	渡邊邦夫 浅岡一雄	研修 研修	2004/10/27～10/30 2004/10/27～10/30	大韓民国 大韓民国	国際シンポジウム出席 国際シンポジウム出席
系統発生	助手	本郷一美	出張	2004/11/13～11/21	ベトナム社会主義共和国	動物骨の資料収集と計測, サンプルの調整・研究連絡
系統発生	教授	茂原信生	出張	2004/11/15～11/24	スイス連邦	博物館所蔵の資料調査及び研究連絡
形態進化	助教授	濱田穰	出張	2004/11/14～12/18	タイ王国, ミャンマー連邦, ベトナム社会主義共和国	マカク類分布・捕獲調査, 研究打合せ, 資料収集
形態進化	助手	國松豊	研修	2004/11/20～12/6	フランス共和国	化石標本資料収集及び研究連絡
系統発生	助手	本郷一美	出張	2004/11/23～12/24	ドイツ連邦共和国	遺跡出土霊長類骨格資料の計測
集団遺伝	助手	田中洋之	研修	2004/11/23～11/28	マレーシア	生物多様性保護と森林の炭素貯留に関するワークショップ参加
センター	助手	後藤俊二	出張	2004/11/30～12/20	タイ王国	マカクザルの捕獲調査及び研究打合せ
生態機構	助手	橋本千絵	研修	2004/11/30～ 2005/1/4	ウガンダ共和国	野生チンパンジーの生態学的調査
思考言語	教授	松沢哲郎	出張	2004/12/10～ 2005/1/11	ギニア共和国	野生チンパンジーの生態調査
形態進化 生態機構	助手 助教授	國松豊 M.A.Huffman	研修 研修	2004/12/18～12/27 2005/1/5～1/28	タイ王国 タンザニア連合共和国	タイ中新世の化石調査 チンパンジーの生態調査, 研究連絡
形態進化	助手	國松豊	出張	2005/1/13～3/1	ケニア共和国	東アフリカの中新世霊長類化石調査
社会構造	助手	杉浦秀樹	出張	2005/1/25～2/28	インドネシア共和国	テナガザル亜種間の音声知覚に関する研究
系統発生	教授	茂原信生	出張	2005/1/26～1/31	ミャンマー連邦	発掘調査打合せ

所属	職名	氏名	種別	期間	目的国	目的
生態機構	助手	橋本千絵	研修	2005/2/3～3/2	ウガンダ共和国	野生チンパンジーの生態学的調査
形態進化	助教授	濱田稔	出張	2005/2/2～2/9	タイ王国, ラオス人民民主共和国	研究打合せ, 調査データの分析
系統発生	助手	高井正成	出張	2005/2/11～2/27	ミャンマー連邦	霊長類化石の発掘調査・標本比較調査
行動発現	教授	三上章允	出張	2005/2/18～2/23	インドネシア共和国	色盲ザルの行動実験及び研究打合せ
生態機構	助教授	M.A.Huffman	研修	2005/3/11～3/15	台湾	研究打合せ及び野生タイワンザルの行動調査
形態進化	教授	遠藤秀紀	研修	2005/3/11～3/19	マダガスカル共和国	哺乳類標本調査
形態進化	助教授	濱田稔	出張	2005/3/14～4/1	タイ王国, バングラディッシュ人民共和国	研究指導, 研究打合せ
集団遺伝	助教授	川本芳	研修	2005/3/14～4/1	ペルー共和国	野外調査
野外施設	助教授	渡邊邦夫	研修	2005/3/21～4/6	インドネシア共和国	スラウェシマカクの野外調査

※センター：人類進化モデル研究センター

8. 非常勤講師

(理) 佐久間康夫 (日本医科大学医学部・教授)
「脳の性差：仮説と現実」～脳の解剖、基礎的な電気生理、行動学的手法の観点から～
2004年10月18日～10月19日

(霊) 茂木健一郎 ((株) ソニーコンピュータサイエンス研究所・シニアリサーチャー)
「認知神経科学」
2004年11月30日～12月1日

(理) 松井智子 (国際基督教大学教養学部・準教授)
「語用論からみた言語の変化」
2004年12月2日～12月3日

(理) 粕谷英一 (九州大学理学部・助教授)
「生態学と新しいデータ解析の方法」
2004年12月21日～12月22日

(理)：理学研究科 卒 (霊)：霊長類研究所 卒

9. リサーチ・アシスタント (R・A)

氏名	採用期間
倉岡康治	2004年4月1日～2005年3月31日
深谷もえ	2004年4月1日～2005年3月31日
山本亜由美	2004年4月1日～2005年3月31日
山田彩	2004年4月1日～2005年3月31日
猿渡正則	2004年4月1日～2005年3月31日
細川貴之	2004年4月1日～2005年3月31日

10. ティーチング・アシスタント (T・A)

霊長類学系科目に係るもの

氏名	採用期間
木場礼子	2004年6月1日～2005年3月31日
東濃篤徳	2004年6月1日～2005年3月31日
託見健	2004年6月1日～2005年3月31日

全学共通科目に係るもの (霊長類学のすすめ)

氏名	採用期間
鈴木智起	2004年6月1日～2004年7月31日
山本真也	2004年6月1日～2004年7月31日
鈴木真理子	2004年6月1日～2004年7月31日
打越万喜子	2004年6月1日～2004年7月31日

全学共通科目に係るもの (霊長類学の現在)

氏名	採用期間
東濃篤徳	2004年9月1日～2004年9月30日
権田絵里	2004年9月1日～2004年9月30日
託見健	2004年9月1日～2004年9月30日
木場礼子	2004年9月1日～2004年9月30日
鈴木智起	2004年9月1日～2004年9月30日